

欧州化学大手 Solvay グループ工場向け熱電併給事業拡大の件

丸紅株式会社（以下「丸紅」）は、欧州化学品製造大手 Solvay グループ（以下「Solvay」）傘下 Solvay Energy Services SAS、及びフランス預金供託公庫 CDC（以下「CDC」）と共に合弁会社を設立し、Solvay が保有するフランス／タボー市のポリマー工場、及びイタリア／スピネッタ市の機能性樹脂工場向けに熱電併給事業を行う長期契約を 2016 年 3 月 29 日にそれぞれ締結しました。

丸紅は、2013 年 9 月以降、Solvay が保有するフランスの 2 つの工場向けに熱電併給を行っており、工場内エネルギーの効率利用促進に役立っています。本件は、フランスで 3 件目、イタリアでは初めての事業となります。

【Solvay グループ工場向け熱電併給事業・実績】

事業実施場所／工場	発電規模	蒸気量	供給開始時期
仏ラ・ロシェル市／レアアース工場 (以下「1号案件」)	7MW	毎時 34 トン	2013 年 9 月
仏リヨン市／ポリマー・食品添加物等工場群 (以下「2号案件」)	43MW	毎時 270 トン	2015 年 3 月
仏タボー市（ポリマー工場） (以下「3号案件」)	155MW	毎時 580 トン	2016 年 3 月
伊スピネッタ市（機能性樹脂工場） (以下「4号案件」)	28MW	毎時 107 トン	2018 年 1 月

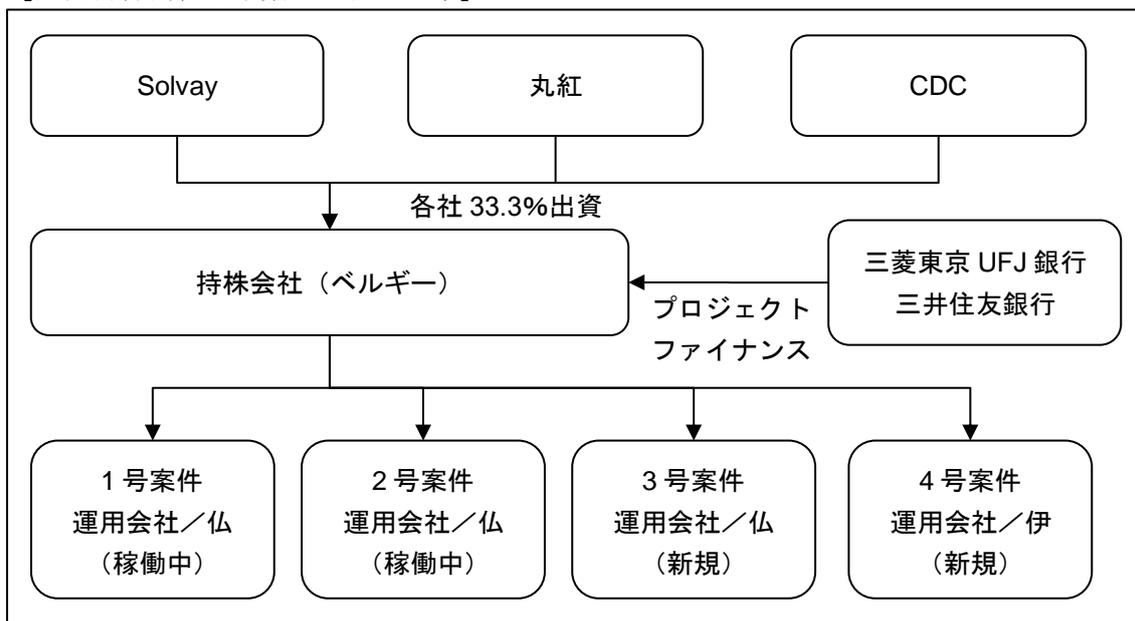
注) : 新規案件

また、この度、丸紅と Solvay、及び CDC の 3 社がベルギーで設立した共同持株会社にて、三菱東京 UFJ 銀行及び三井住友銀行と、上記熱電併給事業に関するプロジェクトファイナンス契約に調印しました。

Solvay は、欧州を初め米州、アジアに 110 以上の製造拠点を有する世界トップクラスの化学品メーカーで、競争力の更なる向上を図る為、傘下工場のエネルギー効率改善に取り組んでいます。また、CDC は、フランス政府 100%保有の預金供託公庫であり、欧州域内のエネルギー効率改善プロジェクトを促進する役割を担っています。

丸紅は、今後も欧州、米州、アジアの Solvay 及びその他企業の工場向けの熱電併給事業を段階的に拡大し、産業分野におけるエネルギー効率の改善、及び関連インフラの普及に貢献していきます。

【共同持株会社と事業ストラクチャ】



【Solvay グループの概要】

会社名	Solvay SA
本社	ベルギー・ブリュッセル
創業	1863 年
代表者	Jean-Pierre Clamadieu (ジャン-ピエール クラマデュ)
事業内容	化学品製造・販売
売上/総資産	売上：EUR10,629 百万/総資産：EUR17,894 百万
格付	BBB- (S&P)、Baa2 (Moody's)

【フランス預金供託公庫概要】

会社名	Caisse des Dépôts et Consignations
本社	フランス・パリ
創業	1816 年
代表者	Pierre-René Lemas (ピエール-ルネ ルマ)
事業内容	政府の意向を受けた分野への資金提供の実施 (不動産、社会インフラ、再生可能エネルギー、文化遺産、中小企業向け支援)
純利益/総資産	売上：EUR1,928 百万/総資産：EUR149,573 百万
格付	AA (S&P)、Aa1 (Moody's)

【合弁会社概要】

会社名	EEco Holding SA
所在地	ベルギー・ブリュッセル
事業内容	4 案件運用会社の持株会社、融資借入

以上